

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東証第二部

上場会社名 マックスバリュ東北株式会社

コード番号 2655 URL <http://www.mv-tohoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 和明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長

兼リスクマネジメント責任者 (氏名) 山内 紀幸

TEL (018)847-0111

四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績 (平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成27年2月期第3四半期	83,284	12.5	83	△63.3	72	△73.1	△375	—
平成26年2月期第3四半期	74,046	—	228	—	271	—	74	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
平成27年2月期第3四半期	△20.64	—
平成26年2月期第3四半期	4.21	4.21

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
平成27年2月期第3四半期	26,644	3,207	12.0
平成26年2月期	23,823	3,469	14.5

(参考) 自己資本 平成27年2月期第3四半期 3,186百万円 平成26年2月期 3,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
平成27年2月期	—	0.00	—		
平成27年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	12.2	300	△31.3	250	△50.1	△200	—	△10.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	平成 27 年 2 月期 3 Q	13, 120, 000 株	平成 26 年 2 月期	12, 000, 000 株
② 期末自己株式数	平成 27 年 2 月期 3 Q	7, 926 株	平成 26 年 2 月期	7, 866 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	平成 27 年 2 月期 3 Q	13, 112, 111 株	平成 26 年 2 月期 3 Q	11, 992, 194 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。平成 27 年 1 月 7 日付にて、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「業績予想に関する説明」をご覧ください。
- 上記 1. 「平成 27 年 2 月期第 3 四半期の業績」(1) 「経営成績 (累計)」の「1 株当たり四半期純利益」「潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益」及び 3. 「平成 27 年 2 月期の業績予想」の「1 株当たり当期純利益」の金額については、A 種種類株式が転換仮定方式に準じて算定された株式数を、普通株式の期中平均株式数に加えて算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	2
(3) 業績予想に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7
(5) 重要な後発事象.....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における経営環境は、政府の経済政策や金融緩和を背景に一部企業の業績が上向くなど景気の緩やかな回復の動きがありましたが、消費税率引き上げによる影響や円安により輸入原材料等の値上げ圧力が強まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社がスーパーマーケットとして営業基盤とする東北エリアにおいても、人口減少と個人消費の停滞の長期化とともに、お客さまの生活防衛志向や節約志向が依然として継続しております。また、競合各社との価格競争に加え業種・業態を超えた競争が激化するなど厳しい状況が続いております。

こうした中で当社は、昨年3月に合併したマックスバリュ北東北株式会社との経営資源の集中と効率化により東北エリアにおける強固な事業基盤の構築に努めるとともに、お客さまの日々の暮らしのニーズにこだわった品揃えによる営業力の強化と、イオンのブランド「トップバリュ」の売上拡大等による収益力の改善、おもてなしの心がこもった接客と魅力ある売場づくりに取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間においては、秋田市中心部に「マックスバリュ泉店」を開設するとともに、大型改装を4店舗実施し生鮮食品売場のリニューアルや加工食品・ノンフーズ売場の拡充により品揃えの幅を拡大いたしました。また、シニア対応の強化と立地特性に合わせた魅力的な売場づくりを進めるため売場ゾーンの見直しや商品構成の変更などを行う改装を10店舗実施してまいりました。さらに、生鮮食品部門でのイオンのブランド「トップバリュ」商品の拡大などにより価格競争力の強化に努めるとともに、小容量パックの充実や調理の手間を省く商品の品揃え、デザートの実などにも努めました。

当第3四半期累計期間では、消費税率引き上げ後の消費の冷え込みが続くとともに夏場以降の天候不順などの影響を受けて、期間中のお客さま一人当たり買上点数は既存店ベースで対前年同期比98.8%、客数は同98.3%、客単価は同99.6%となり、結果として既存店売上高は同97.9%にとどまりました。一方、付加価値を高めた即食性・簡便性を持つ商品群の充実や売価変更ロスの削減などに継続して取り組んだ結果、売上総利益率は前年同期比0.3ポイント上昇し22.1%となりました。また経費面では、収益性の向上のためコスト構造改革を継続して進めた結果、販売費及び一般管理費の総額は既存店ベースで対前年同期比98.5%となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は営業収益832億84百万円(対前年同期比112.5%)、営業利益83百万円(対前年同期比36.7%)、経常利益72百万円(対前年同期比26.9%)となり、期間中特別損失の計上があったことから、四半期純損失3億75百万円(前年同期は74百万円の四半期純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ21億38百万円増加し、87億15百万円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が6億67百万円、商品が6億36百万円、電子マネー決済の増加等で未収入金が7億54百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ6億81百万円増加し、179億28百万円となりました。増減の主な内容は、合併による有形固定資産の受入、新規出店及び既存店改装等による取得と、減価償却費及び減損損失等による減少により有形固定資産が6億50百万円増加し、投資その他の資産が30百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ28億20百万円増加し、266億44百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ36億75百万円増加し、204億73百万円となりました。増減の主な内容は、当四半期会計期間末日が金融機関休業日のため決済が翌四半期会計期間へ回ったこと及び合併等により、買掛金が28億22百万円、未払金及び未払費用が5億84百万円、新規出店及び既存店改装等により設備関係支払手形が5億79百万円増加し、短期借入金が7億25百万円減少

したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ5億93百万円減少し、29億63百万円となりました。これは、主に長期借入金が5億30百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ30億82百万円増加し、234億36百万円となりました。
(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ2億61百万円減少し、32億7百万円となりました。これは、合併による資本金の増加1億円及び資本剰余金の増加3百万円と四半期純損失を3億75百万円計上したこと等によります。

(3) 業績予想に関する説明

2015年2月期通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における損益状況等を考慮し、2014年4月8日に公表した業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2014年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2014年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	822,081	1,489,339
売掛金	108,116	157,875
商品	2,594,478	3,231,228
貯蔵品	33,339	40,376
前払費用	305,243	330,864
繰延税金資産	91,509	91,039
未収入金	2,467,958	3,221,975
その他	154,943	156,584
貸倒引当金	△1,026	△3,701
流動資産合計	6,576,642	8,715,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,849,387	9,319,578
工具、器具及び備品(純額)	1,267,101	1,507,322
土地	5,188,682	5,148,780
建設仮勘定	21,791	2,105
有形固定資産合計	15,326,963	15,977,785
無形固定資産	22,148	23,244
投資その他の資産		
投資有価証券	99,225	115,801
長期前払費用	470,636	428,064
差入保証金	1,277,681	1,350,950
その他	52,972	34,840
貸倒引当金	△2,757	△1,857
投資その他の資産合計	1,897,758	1,927,798
固定資産合計	17,246,870	17,928,829
資産合計	23,823,513	26,644,412

(単位：千円)

	前事業年度 (2014年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2014年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,564,767	10,387,674
短期借入金	4,100,000	3,375,000
1年内返済予定の長期借入金	661,600	553,600
未払金及び未払費用	1,933,916	2,517,975
未払法人税等	157,151	50,861
未払消費税等	473,149	486,058
賞与引当金	107,219	260,823
役員業績報酬引当金	—	6,378
設備関係支払手形	175,676	754,928
資産除去債務	—	930
店舗閉鎖損失引当金	13,536	4,540
その他	1,610,840	2,074,647
流動負債合計	16,797,859	20,473,419
固定負債		
長期借入金	530,700	—
退職給付引当金	338,108	313,212
長期預り保証金	1,427,897	1,373,982
繰延税金負債	182,234	187,538
資産除去債務	963,867	1,043,249
その他	113,539	45,217
固定負債合計	3,556,347	2,963,201
負債合計	20,354,206	23,436,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,585,000	3,685,000
資本剰余金	4,062,645	4,065,983
利益剰余金	△4,225,772	△4,601,303
自己株式	△7,258	△7,321
株主資本合計	3,414,613	3,142,357
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,954	43,694
評価・換算差額等合計	32,954	43,694
新株予約権	21,739	21,739
純資産合計	3,469,306	3,207,791
負債純資産合計	23,823,513	26,644,412

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)
売上高	72,619,603	81,819,172
売上原価	56,767,790	63,774,567
売上総利益	15,851,812	18,044,605
その他の営業収入	1,426,404	1,465,692
営業総利益	17,278,217	19,510,297
販売費及び一般管理費	17,049,308	19,426,386
営業利益	228,908	83,911
営業外収益		
受取利息	2,003	1,844
受取配当金	1,942	2,142
債務勘定整理益	7,736	4,039
補助金収入	8,856	255
違約金収入	7,926	3,008
受取保険金	37,868	2,120
貸倒引当金戻入額	1,721	—
その他	8,692	7,628
営業外収益合計	76,748	21,038
営業外費用		
支払利息	31,320	28,441
リース解約損	1,582	—
その他	1,672	3,581
営業外費用合計	34,576	32,023
経常利益	271,081	72,927
特別利益		
固定資産売却益	—	92
特別利益合計	—	92
特別損失		
減損損失	33,571	363,933
投資有価証券評価損	960	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	25,417	1,569
その他	—	1,787
特別損失合計	59,949	367,289
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	211,131	△294,269
法人税、住民税及び事業税	90,583	92,502
法人税等調整額	46,431	△11,241
法人税等合計	137,015	81,260
四半期純利益又は四半期純損失(△)	74,116	△375,530

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2014年3月1日付で当社を存続会社、マックスバリュ北東北株式会社を消滅会社とする吸収合併をいたしました。この結果、当第3四半期累計期間において、資本金が100,000千円、資本剰余金が3,338千円増加し、当第3四半期累計期間末において、資本金が3,685,000千円、資本剰余金が4,065,983千円となっております。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。